

# 入門クラス・基礎クラスのカリキュラム

## <入門クラス>

授業科目名	内容
学術日本語語彙・文法	学術的な場面で広く使われる基本的な語彙を学ぶとともに、N2レベルの文法項目の運用能力を身につける。
学術日本語聴解	話の大まかな内容やおおよその意見を聞き取り、要点をつかむ。
日本語コミュニケーション	相手とのコミュニケーションを通じて、自分の考えや意見を相手に効果的に伝える。
日本語論文作成入門 〔文系研究科希望者 (理系研究科希望者も出席可)〕	一般的な話題に対して、自分の意見などを根拠を挙げて説明する能力を身につける。
学術日本語補講 〔文系研究科希望者 (理系研究科希望者も出席可)〕	ティーチングアシスタントと学習内容のフォローや補足的なニーズに応じた学習支援により、学習内容の定着を強化する。

## <基礎クラス>

授業科目名	内容
学術日本語表現Ⅰ	研究課題を決めるために必要な「考え方」のトレーニングを行うとともに、研究計画書・論文の構成や表現などを身につける。
学術日本語表現Ⅱ	日本語で学術的な文章を書くために習得しておくべき語彙、文型、表現、論文構成、展開パターン、事実・意見の提示、論証の方法などを学ぶ。
個別研究Ⅰ	大学院出願のために、学術的日本語表現だけでなく研究テーマの設定、構成などの研究計画書の基本的な書き方を身につける。
日本語文章力Ⅰ	論理的な文章から内容の展開と文章の構成を読み取り、論理的な文章が書けるよう訓練をする。
コミュニケーションスキルⅠ	学生生活のほか、ゼミ発表やディスカッションにおける意見の述べ方や質疑応答の仕方など、円滑なコミュニケーションをとるために必要となる表現・口頭表現技術を学ぶ。
学術文章読解	各自の専門分野の論文などを自力で読むための基礎的読解力を身につける。
アカデミック・リスニングⅠ	大学院の講義を効果的に理解するための総合的な能力育成を目指し、講義理解のストラテジー（方略）を学んだ後、実際に講義ビデオを見て、重要な部分を意識しながらノートをとる練習をする。
口頭表現演習Ⅰ	大学院入学試験など学術的な場面で十分に対応できる口頭表現能力、ならびにマナーを習得する。
その他専門科目	